



【ウイズユー……あなたといっしょに】～男女共同参画社会を考える情報誌～

えんぶり (協工会館内ステンドグラス)

No.14
2005 春

●情報誌 WITH YOUが 広報はちのへから独立。男女共同参画に関する情報や、家庭・地域・職場での身近な問題や情報を市民の日線で発信します。男女共同参画は、老若男女を問わず、全ての人にかかわることです。どうぞご覧ください。

●2～4……

・「特集」あなたはどし思いつく？
八戸市男女共同参画基本条例について

●5……

・イキイキ人間
旬！八戸市では、いま

●6……

・団体紹介
おとこの子育て
まちづくり塾通信

●7……

・寄稿文(辛 淑玉)
あこがれのヨン様

●8……

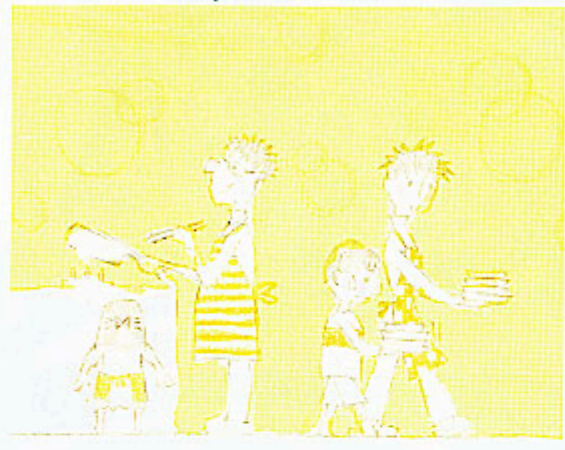
・やさしい
男女共同参画のおはなし



<よしこさん一家の状況説明>
 よしこさんは30代。自営業の夫、5歳の息子、2歳の娘の4人暮らし。長男出産で会社を辞め、専業主婦になったものの、夫の転職で収入減になり、パートタイマーとして働いている。パートといっても仕事内容は正社員とほとんど変わらない。独り暮らしをしている夫の母は、転倒骨折して入院中。
※注：この話はフィクションです

■月曜日 Monday

月曜日は保育園にお弁当を持っていく日。夫が子どもたちと私の3人分のお弁当を作ってくれる。料理好きの夫の影響で、子どもたちも料理が大好き。見よう見まねで一緒にやっている。夫もそれが楽しいようだ。



職場は私のようなパートタイマーが多い。月末ともなるとパートでも急に残業になる。今日も午後3時を過ぎたころ、残業をしてほしいと上司から言われた。明日朝まで資料を作らなければ、取引先に迷惑がかかるということ。子どものことが気になるが、残業をすることにした。残業すると保育園のいつものお迎えの時間に合わない。夫と電話で話し合ったが、夫も今日は無理だという。仕方がないので、保育園に延長保育のお願いをする。臨時の延長保育してくれるのは、働く親にとってはとてもありがたい。夜、夫が料理を作っている間、私は

【よしこさんの1週間から】
 特集[八戸市男女共同参画基本条例について]

**あなたは
どう思う？**

「生き生きと自分らしく暮らしたい」誰もが願っていることです。その実現に向けて、ぜひ心に留めていただきたいのが、男女共同参画の推進です。八戸市には男女共同参画基本条例があります。その内容はどんなものなのでしょう。1人の働くお母さんの1週間の出来事を通して男女共同参画について考えてみましょう。

できる人も家事でも一人だけに負担を押しつけず、みんなで分担するって素敵！



洗濯や掃除をする。家族で一緒に家事をする。早く終わるので、みんなで話したり、遊んだりする時間が長くなる。この時間が私と夫のエネルギー源。さあ、明日も仕事、頑張るぞー！

【基本理念】 家庭生活における活動と他の活動の両立

家族一人ひとりがお互いに協力し合い、社会の支援を受けながら、家庭生活と仕事や地域活動との両立ができるようにしましょう。



●●市民の声

共働きしている妻を見て、「抜けて帰っているのだから」と思ってた手伝っているうちに、いため料理は私の得意とするものになっています。(50代男性)

※「市民の声」は、平成14年度、八戸市民の男女共同参画に関する意識調査から抜粋しました。

■水曜日 Wednesday

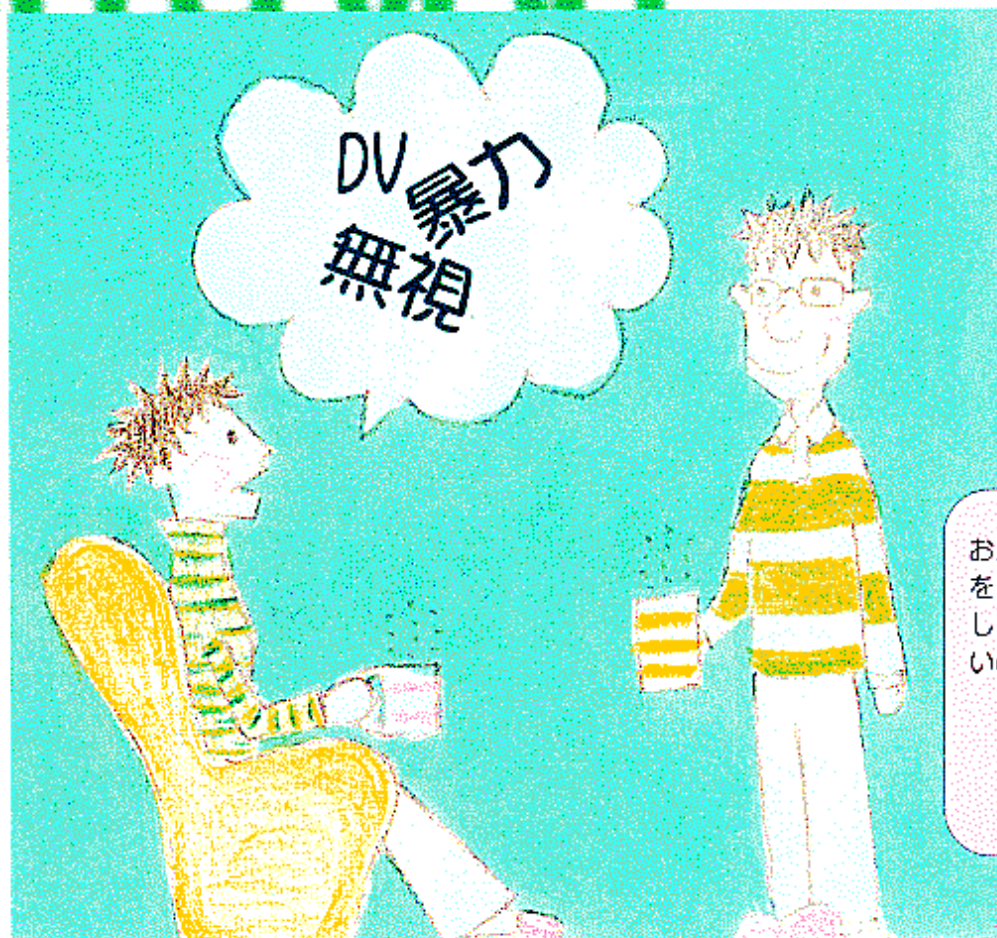
「妻がちよつとでも外出するのをいやがったり、後で電話の内容を詮索したり、妻が何かすることを理由も言わずに一方的に禁止したり、その日一日何をしてたかしつこく問いたりする夫もいるんですって。ラジオの人生相談でやってたのよ」と夫に言ったら「へえ、それだけ妻を愛してるってこ



とかなあ」と、のんきな返事。「違うのよ。DV。夫から妻への暴力なんだって。殴ったり蹴ったりするだけでなくて、無視し続けたり、行動を厳しく監視したりすることもDVなんだって」「じゃ、僕もDVを受けてる。僕がだじやれを言ってもいつも君は無視するよね」と夫。「そうじゃなくて……」

●●●市民の声
*DV…ドメスティック・バイオレンス。一般的に、夫や恋人などから女性への暴力をいう。
ひどい言葉を浴びせるとか、セックスを強要するということも甚だしい時はDVとして扱われることもある。

お互いに相手を認めて尊重しあえばいいのよねえ。



【基本理念】男女の人権

男女それぞれの人権を尊重し、性別により差別しないようにしましょう。また、一人ひとりが個性と能力を發揮できるようにしましょう。

●●●市民の声

男性とか女性とか言う前に、人間としての教育を行い、「男性・女性」というのは、「若い・年をとっている」と同様に個性や特徴だということのように考える方向を示せばよいのでは。(50代女性)

■金曜日 Friday

育児休業していた同僚のK子さんが仕事に復帰。うちの会社は女性社員が多く、早くから育児休業制度がしっかりとっているので安心して取ることができた。私も2人目の子どもの時に利用した。今は介護休業制度もできたので、養母の介護が必要になったら利用しようかと夫と話し合っている。

家族も会社も理解があると、安心して子どもを生んで育てられるわね。



●イラスト=LIN

【基本理念】性と生殖に関する健康と権利

男女ともお互いのからだの違いについて理解を深め、生涯にわたって健康に生活を送れるようにしましょう。また、お互いの意思で安心して妊娠と出産ができるようにしましょう。

●●●市民の声

職場で若い女性の社員が、生理痛がひどいけれど会社側に言えないのだからというより認めてもらえないのでとてもつらそう。仮病ではないかと思われがち。(50代女性)

■土曜日 Saturday

入院中の義母のところへ子どもたちを連れてお見舞いに行く。とてもやさしい対応の看護師さんを見て、長男は「僕は大きくなったら、おねえさんみたいな看護師になる」と胸を張って言った。そんな長男に義母は「看護師さんは女の仕事よ。お兄ちゃんはお医者さんになつてよ」と真剣な顔で言い聞かしている。



仕事、仕事、男の仕事、女の仕事って決まるの？



【基本理念】社会における制度 または慣行についての配慮

「男だから」「女だから」という性別による固定的な役割分担の意識が、地域活動への参加、職業や学校を決める時に影響を及ぼさないようにしよう。

●●●市民の声

父が家事をしたり、母が働くのを当然と子どもが思いながら育つことで、無理なく次世代の男女共同参画がなされると思う。(50代女性)

■日曜日 Sunday

夫は仕事、私は休み。今日は午後から自治会の役員会。いつもは夫にまかせていたけど、今日は私が出席することにした。「うちの町内は女性の参加者が多く、会議でも女性の意見がきちんと聞き入れられる。」と夫がいつも言っていたけど本当だった。日ごろ気になっていたゴミステーションの設置を提案したら、いい方向に話が進んだ。意見を言つてよかった。

4 「特集」八戸市男女共同参画基本条例について



これからも積極的に参加しよう



【基本理念】方針の立案及び決定への共同参画

男女が対等なパートナーとして、さまざまな分野における方針の立案や決定の場に参画できるようにしよう。

●●●市民の声

自分たちの住んでいる地域を住みやすく、生き生きと活性化するために、政治への参加、行政への要請など、今以上に女性が積極的に参加したほうが良い方向へ変化し、進むと思うのだが。(60代男性)

条例には、5つの基本理念があります。条例があることで男女共同参画に関して私たちの暮らしの中で気付いたことや困ったことの解決に市も努力してくれたり、活動への支援もしてくれます。その一方、私たち市民や事業者も市の施策に協力するように努力しなければなりません。権利があれば、それに伴う責任や義務もあるのです。

子どもたちの すばらしさに 感激の毎日



千葉幼稚園 教諭
みなみ けんじ さん
南 謙 彦 さん

この幼稚園に、はじめはバスの運転手として昭和55年に勤務しました。子どもたちと接するうちに、幼稚園の先生になりたいと思うようになり、園長の勧めもあり、一念発起して通信教育で教員の資格を取りました。いろいろな事情もあって8年もかかってしまいました。特に実践のピアノには大変苦労しました。実際に教員として働いてみると、子どもたちとじかに接することのす

ばらしさに感激する毎日です。何気ない子どもの言葉に力づけられながらあつという間に24年が経ちました。現在は全学年を対象に体育遊びを中心に担当しています。

園では、家庭と同じように男性と女性が一緒に子どもに接することで、バランスの取れた人間を育てる役目を果たせたらと日々の保育にあたっています。子どもは本当にかわいいですよ。

上司からの一言

人柄が穏やかで、優しさがあって、温かさがある先生です。子どもたちに大変好かれています。

男の先生が園にいるということが調和の取れた心身の発達を促す環境に役立っています。これからも南館先生の特性をいかして子どもたちに接してくれることを期待しています。

◎千葉幼稚園は
平成16年9月に創立50周年を迎えました

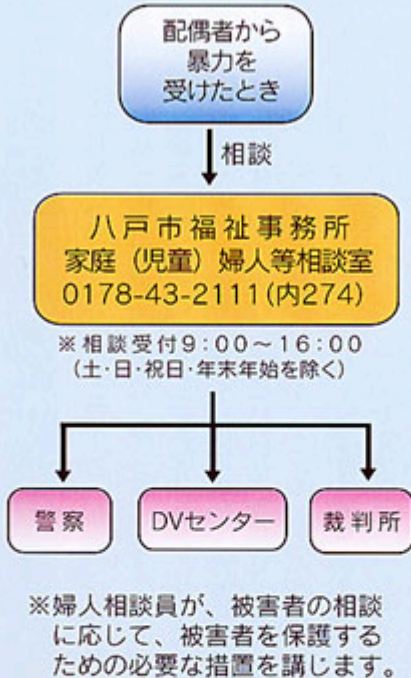
旬!

八戸市では、いま

DVのない社会をめざして

〜ひとりで悩まないで〜

困ったときは・・・



DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人、パートナーなどの親密な関係にある(あつた)人からの暴力のことを言います。暴力には様々な形があり、殴る、けるなどの身体的なものだけではなく、怒鳴る、脅す、行動を厳しく監視するなど精神的なもの、性行為を強要するなど性的なものも含まれます。それらが複雑に重なりあつて被害者の心と身体を傷つけます。これは重大な人権侵害であり、決して許されるものではありません。

市では、家庭(児童)婦人等相談室の婦人相談員が被害者の安全と秘密を保持しながら、相談に応じていますが、年々DVについての相談件数が増加しているため、相談窓口の強化を図るとともに、市の関連部署や関係機関との連携の強化を図っていきます。

ひとりで悩まずに気軽に相談して下さい。

配偶者暴力防止法(DV防止法)が改正されました

「配偶者からの暴力及び被害者の保護に関する法律」が平成十六年六月に一部改正され、十二月二日から施行されました。

【主な改正点】

- 別れた元配偶者から引き続き受ける暴力も、保護の対象となります。
- 生命又は身体に重大な危害を加えるおそれ大きいと認められる場合は、暴力をふるう加害者に対し二ヶ月間家から出て行くように裁判所が命じることが出来ます。
- 身体的暴力の被害者が子どもと一緒に生活していて、加害者がその子どもを連れ去るおそれがある場合などに、加害者に対して子どもを通う学校や幼稚園等の近辺をうろつくことを裁判所の命令で禁止できます。

※詳しい情報はこちら
内閣府「配偶者からの暴力被害者支援情報サイト」
<http://www.gender.go.jp/e-vaw/index.htm>

新日本婦人の会八戸支部

(代表 三上和子)

各班が自分たちの企画で活動しています。

◎発足はいつ頃ですか

新日本婦人の会は1962年に発足した全国的な組織で、八戸支部は同じ年の12月に出来ました。現在八戸支部の会員は200名で25の班があります。

◎どんな活動をしているのですか

憲法9条を守る運動を中心に食



●産直交流会

の安全、平和、男女共同参画などの視点で各班が「自分たちらしく」企画した活動をしています。支部全体でも講演会や勉強会などたくさんさんの活動に取り組んでいます。

◎印象に残る活動は

1971年から「子ばと」乳児園を開設し1975年に閉園するまで、会の事業としてやっていました。また「子ども祭り」は1972年から15、6年続けていました。事業は終了しましたが、本当にたくさんの参加者があり子どもたちの元気な声が今でも耳の奥に残っております。

◎最近の活動は

一人ひとりの思いを大切にしてみんなの力で実現できるように取り組んできました。若い会員の希望で「乳幼児の救急法講座」を開催したり、安全で安心できる食品を子どもたちへ伝えようと「産直運動」を展開し農家の方々と一緒に農業の現状について語り合い交流をしました。

(談 近藤事務局長)

おうちの育て

松館重夫 (看護師)

私たちは、夫婦とも看護師なのでお互いに夜勤があり、その頃からわが家の男女共同参画事業(男だからという理由は通らない子育て)は始まっていったように思います。最近はやや休みの私が洗濯や夕飯の支度をすることが多くなりました。

そんな私も一度だけ子どもに手をあげたことがあります。息子が幼稚園の頃、かんしゃくを起こした弾みで義父の家のガラスを割ってしまった。「親がだらしないが、孫まで悪い

まちづくり塾通信



昨年8月から10講座が行われていた、はちのへ女性まちづくり塾は1月13日、最後の講座となる「市長との意見交換」の前に、市長と受講生25名が中心街



を視察しました。場所を変えて、「市長との意見交換」をしました。最後に市長は女性の進出を

企業でも社会でも期待していると話されました。



寄稿文

(株) 香科舎代表

しん ず
辛 淑玉

【プロフィール】

(株) 香科舎代表 人材育成技術研究所 所長
人材育成コンサルタント
http://www.shinsugok.com/

ビジネスショー、モーターショー、万博などのパビリオンの運営・人材育成研修
管理職研修、評価プログラムの開発
明治大学政治経済学部特別招聘教授
神奈川県人権啓発推進会議委員

●著書

『となりのピカソ』(愛媛新聞社)

『怒りの方法』(岩波新書)、他

●メディア出演

『痛快 おんな朝』(朝日ニュースター) 『世界一受けたい授業』(日本テレビ) (NHK) 『視点・論点』、他

あこがれの

ヨン様



昨年はヨンさままで始まり、ヨンさままで終わった。今年もヨンさまブームは続くだろう。

「君のポラリス(北極星)になんて言われた女性は、私の周辺の日本女性には皆無である。」

万が一言われたとしても、そこ

りの表情をする。挙句の果てには、「そんなことしたら、あなた何か下心があるんじゃないのと疑われますよ」と、やらない理由を一生懸命探し出す。

しかも、この「理由」が日本全国どこでも一緒という芸のなさ。

さらに、女性たちが「ベツカムさま」と黄色い声を張り上げていたときには何も言わなかった男

たちなのに、「ヨンさま」

になったとたん、「あんな男のどかがいいんだ？」

だの「土下座外交だ！」といった言葉まで飛び出す始末。

民族差別、人種差別なんて高尚なものではない。アジアの男に、オレの所有物である「女」を取られた、という劣等感に裏打ちされた差別意識と女性蔑視がそこには

見える。

「脱亜入欧」の精神は、つまり脈々と受け継がれている。

かつてサッカーのベツカムさまを追いかけていた女性たちが、さらに団塊世代の夫を持つ妻たちの援軍を得て、その娘たちまで引き連れて追っかけをしているのだ。なのに、この女たちの革命的行動

に対する男たちの鈍感さにはほとほと驚く。

愛も語れなければ、女性に対するマナーもなく、女性を大切にするとはどういうことかも知らず、育児ができるわけでも、生活をデザイン(家事)できるわけでもなく、ただ威張ってるだけで金も稼がない男たちに、女が三下り半を突きつけたのだ。

そう、あなたはイヤよ、と言っているのだ。

家庭を顧みずただ働くことが美しいと錯覚し、オレがお前を守る、なんて神話に絡めとられて、苦しくなると「一体誰に食わせてもらってるんだ」と態度で示す。

これで捨てられない男がいるとしたら、それは恐怖による支配か、妻の限らない犠牲的精神の結果でしかありえない。

男たちよ、今からでも遅くない。妻の顔色を見て、妻が何を望んでいるのか察しなさい。妻と語りあう時間を持ちなさい。

これからもっと一緒にいたい人は？との質問に、夫の90%が「妻」と答えたが、妻の70%は「友だち」と回答した。

崖っぷちなんだよ、おとーさん。

にはストーリー的恐怖以外ないだろう。だって、そういう男の普段が普段だから。

そう、沈黙は金、武士に二言はない、夫婦は黙っていて理解すべきもの、なんて教えの中で育った「日本の男」たちには、日常的に「愛してる」なんて言葉を使う概念がない。

講演会場で「妻に花を買った人は？」と質問すると、えーっと言わんばか

やさしい 男女共同参画 のおはなし

女の子の色の 決まってるの？

— デパートの食器売り場で —

「ねえお父さん、このお茶わんは親子なんだね」

「え、どうして？」

「赤いのは小さくて、青いのは大きいもの」

「これはめおと茶わんだからね」

「めおと茶わん？」

「そう。めおとは簡単に言ったら、お父さんとお母さん、おじ

いちゃんとおばあちゃんということ。めおと茶わんの大きいのは

男の用、小さいのは女の用ということかな」

「どっちも大人なのに、大きさが違うの？」

「そりゃあ、男の人はからだが大いからたくさん食べるし、

手も大きいからね。」

「でも、おとなりはおじいちゃんのほうが小さいし、うちはお

かあさんのほうが食いしん坊だよ。そういうときは、女の人が

大きいのを使うんだね」

お父さんはちよつとこまつた顔をしました。

「でも、小さいのは赤いのが多いんだよ。女の人は赤が好きなん

んじゃないのかな？アヤだつて赤いおはしを使つてるでしょ」

「アヤは青がよかつたけど、おばあちゃんが赤いのをアヤに、

青いのはタクヤにつけてくれたから」

そこへ、赤いケースをにぎりしめたタクヤとお母さんがやつてきました。今日は、タクヤが保育園で使うおはしセットを買いに来たのでした。

「おねえちゃん、ほくのおはしいいでしょ」と、タクヤはうれしそうに言いました。

「タクヤは赤いのがいいの？」

「うん。だつて、好きなんだもん」

「男の子も、赤が好きなんだね」

「そうよ。赤でも、青でも、緑でも、自分が好きな色をえらんでいいのよ」お母さんは茶色の茶わんを手に取りながら笑っていました。



●編集後記●

100人の家庭、それぞれが自分たちらしく、自分たちが良いと思う家庭を築くことが平和で楽しい生活の元になること。隣の芝生にもたくさん問題は抱えているということを確認合いたいとつくづく思うこの頃です。

●編集スタッフ

工藤恵美子 藤村幸子 赤坂美千子 羽田 修

●イラスト 沢田真理

●表紙写真 田端義彦

●印刷(有) 赤坂コピーライツジム

はちのへ男女共同参画都市宣言

あなたはあなたらしくていい
わたしもわたしらしくていい
お互いを思いやり
お互いを認め合い
お互いを高め合い
男だから生きとわかれず
自分らしく生きていきたい
一人ひとりが生き生きと暮らせるまちを
ともに築くため
八戸市は
ここに「男女共同参画都市」を宣言します
平成13年10月31日
八戸市

